

函館生涯学習インストラクターの会

情報誌 平成24年度(第9号) 1月17日発行

会長 島貫 徹彦

編集責任者 浜田 愷

☆ネット情報 {報告・情報・連絡}

- ☆ 12月20日 月例研修会「折り紙」講師 会員 七尾佳佑
- ☆ 1月15日 24年度 ともえシニアカレッジ
第3回講座 『函館の古い地図を探る』
講師 ときどき雑学的少数市民 奥村茂樹氏
- ☆ 1月17日 新年懇親会 本町 「呑食 カムズ」PM6:00

☆広場の声【自らの感じ、気づいたこと(随筆・旅行記・文芸)】

年 頭 ご 挨拶

会長 島貫 徹彦

あけましておめでとうございます。

皆様健やかに佳きお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も明るく楽しく、気持ち良く生涯学習ボランティア活動を続けて参りましょう。

さて私共生涯学習ボランティア活動は、世相がどうあれ常に己の向上を図り、相互啓発をしその能力の発揮により、他人様のため、地域全体のため何らかのお役に立てることが理想であります。それらを通じ生甲斐を見いだせれば、それは終局の目標ではないでしょうか。

生涯学習は、年齢に関係なく誰でも、いつでも、どこでもなんでも学べるものであり、地域社会に対しその場の提供や、学習のチャンスを作る基でありたいものです。

最近、余生という言葉をよく耳にしますが、生きることが余ることなどありません。生涯学習活動を積極的に行うことにより、より精神的に前向きになり健康寿命年齢を伸ばすこともできるのではないのでしょうか。 したがって、余生などと言っている暇はありません。

また、生涯学習を「学問」などと捉えますと気難しいことになりますが、「学問は人の数だけある。」とも言われます。その人の数だけある学問なら、大勢の人々と交流すれば、その都度新しいものに触れたり、気付かされたりすることも生涯学習ですから、今年も大勢の人々と交流し、楽しい活動をいたしましょう。

年頭に当たり日頃心していることを述べさせていただきました。

今年も皆さんと力を合わせ楽しく、面白く、良き活動をしてまいりましょう。
そして、お互い良い年だったと、・・・・・・
一同のご多幸、ご健康を祈念して念頭の挨拶といたします。

川柳を作ろう !!

島 貫 徹 彦

川柳ブームと言われて久しい。新聞・雑誌・テレビ・ラジオほか様々なところで川柳を主催している。川柳は宝暦七年（1757年）頃、柄井八右衛門によって、万句合興行を催したことが始まりだそうです。川柳は五七五の風刺文芸と考えれば、これくらい手軽に、いつでも、どこでも、誰にでも出来るものだと思います。難しい決まりはなく普段着の言葉で社会の機微、喜怒哀楽を風刺の精神で捕らえて表現すればいいわけです。どうぞ、ボケ防止に一日一句に挑戦しましょう。

そこで一句 【 学習の 言葉が重い 我が頭 】

有 名 句 【 孝行の したい時分に 親はなし 】

その内、会員の造った川柳を
本誌に載せましょう。
題を決めず、自由に・・・・

出来ましたら、ど
うぞ、ご投稿を
大歓迎
です。